

未来へつながるまちづくり これからの公共施設を考える ワークショップを開催しました！



市の公共施設を取り巻く現状や課題を踏まえ、公共施設の適正配置に向けた取り組みを市民の皆さんに理解していただき、行政サービスのさらなる充実に向けた今後の公共施設のあり方について市民の皆さんと一緒に考えていくことを目的として、全3回にわたる市民ワークショップを開催しました。



ファシリテーター
名古屋大学大学院
工学研究科
恒川 和久准教授

第1回 ワークショップ

1/26

市の魅力向上や課題を解決するために、公共施設を使ってなにができるかを検討

第2回 ワークショップ

2/9

公共施設を分析し、課題解決に関するテーマを決定

第3回 ワークショップ

3/2

検討結果(成果)まとめ、発表

※いずれも午後1時30分～午後4時30分、会場は総合社会教育センターで行いました。

提言内容

※各グループより提言いただいた内容については、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

Aグループ

**社会福祉法人で解決
～子どもも高齢者も安心して赤字解決～**
南部保育所の廃止と桜保育所の民間移管



Bグループ

栄南オシャレ化計画
南部コミュニティセンターを中心とした施設や機能の集約化



Cグループ

**コミュニティ単位の見直しおよび統合の
ステップアッププラン**
～モデル事業としての十四山地区の拠点総合計画～
十四山地区の施設やサービスの見直し



Dグループ

コンパクトシティのコアをつくる!!!
北部地域の将来を見据えた施設再編案



このワークショップで検討いただいた内容は提言集としてまとめ、3月25日(月)にワークショップ参加者から市長へ手渡されました。

提言内容の詳細については、市ホームページをご覧ください。

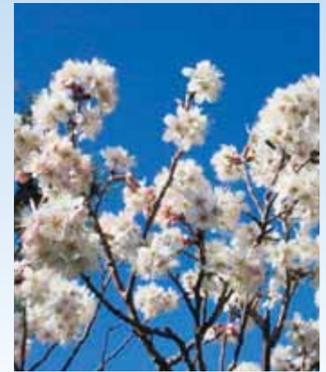
市役所企画政策課



市長、恒川准教授、ワークショップ参加者の皆さん



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲さくらんぼの木
(五明 三原洋さん提供)



災害ボランティアセンター開設訓練

防災ボランティアコーディネーター フォローアップ講座

2月17日、24日、総合社会教育センターで「海部地方防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座」が開催されました。

災害時にはボランティアを受け入れるために、ボランティアセンターが開設されます。この講座は、ボランティアセンターを運営する「ボランティアコーディネーター」を養成するもので、海部地域7市町村と社会福祉協議会によって毎年開催されています。弥富市開催の今回は、22人が参加されました。

近年、多発する大災害ではたくさんのボランティアが活躍されています。そのボランティアを支えるボランティアコーディネーターの知識を深める有意義な2日間となりました。

今年度は大治町で養成講座が開催されます。詳細は広報やとみ11月号でお知らせする予定です。

ひなまつり会



踊りを披露する年長の女の子たち

3月1日、大藤保育所でひなまつり会が行われ、年長の子どもたちが年中・年少の子どもたちを招待しました。

ひなまつり会では、子どもたち全員で手作りしたひな人形が飾られた部屋に集まり、お雛様の前でひなまつりの歌を歌いました。この日を楽しみにしていた年長の4人の女の子たちは、先生にかわいい着物を着せてもらっておめかしをし、ひなあられなどのお菓子を年中・年少の子どもたちに配膳して接待をしました。その後、ひなまつりの曲に合わせて自分たちで振付を考えた踊りを披露し、女の子のお祝いをみんなで楽しみました。

消防団観閲式

3月3日、文化広場で弥富市消防団観閲式が行われ、部隊訓練、分列行進、実践訓練などが実施されました。鈴木団長のもと日頃の訓練の成果が発揮され、地域の消防・防災の要としての頼もしい姿が披露されました。特に部隊訓練では佐藤副団長の号令に合わせ統率のとれた部隊活動がなされていました。弥富市の消防・防災の要として、ますますの活躍が期待される消防団に大きな拍手がおくられました。



実践訓練